

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P.337

1501 通学区域審議会に要する経費 31,900 円 (0 円)

[一財 31,900 円]

○ 目的

中学校の統廃合に伴い、中学校通学区域の適正化を図る。

○ 内容

野々井中が統廃合されることに伴い、永山中及び取手二中の通学区域の見直しを行うため、通学区域審議会を組織し、審議を行った。

○ 効果

通学区域審議会の審議により、中学校統廃合後の通学区域の適正化を図ることができた。

[担当：学務給食課] P.337

2201 通学送迎に要する経費 840,000 円 (840,000 円)

[一財 840,000 円]

○ 目的

旧高須小が桜が丘小に統合されたことに伴い、遠距離通学となる大留第1地区（小貝川左岸）の児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

登下校時に、桜が丘小と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 5年生：1人 3年生：1人

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P.337

2301 教育情報機器整備に要する経費 5,467,146 円 (57,771,750 円)

[一財 5,467,146 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うため、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校全校の校務事務の情報を教育委員会と学校が共有する事で、教職員の事務の効率化と個人情報の保護を図る。

主な事業費内訳

・教職員情報ネットワーク使用料 5,103,000 円

○ 効果

教育委員会と学校が情報を共有する事で、事務の効率化と個人情報の保護が図れた。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 339

2101 奨学生貸付金 4,819,300 円 (5,520,000 円)

[その他 4,819,300 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 6,239,800 円(償還者数：35 名)のうち 4,819,300 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大 月額 30,000 円 私立大 月額 40,000 円

平成 22 年度の新規採用者 3 名

奨学生	22 年度	21 年度	20 年度
新規	3 名	3 名	3 名
継続	7 名	9 名	9 名
合計	10 名	12 名	12 名

種別	22 年度	21 年度	20 年度
国公立大学	0 名	2 名	3 名
私立大学	10 名	10 名	9 名
合計	10 名	12 名	12 名

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 341

0501 教育振興に要する経費 49,366,388 円 (70,009,957 円)

[一財 49,366,388 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力など「生きる力」を育むことをねらいとして、教育の充実を図る。

○ 内容

・ 小学校教師用教科書・指導書購入 14,654,910 円

新学習指導要領改訂により、小学校教科書が新たに採択されたことに伴い、教師用教科書・指導書を活用し、指導内容の充実を図った。

・ 英語指導助手業務委託料 29,544,687 円

英語指導助手 14 人(中学校各校に 1 人配置、小学校は 3 校に 1 人配置)を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手との交流により国際理解の推進を図った。

・ 社会科副読本「とりで」印刷製本 1,879,500 円

・ 学習ボランティア謝礼 207,000 円

・ 「心の授業」「心の先生」謝礼 226,000 円

- ・学校問題解決サポートチーム員謝礼 25,200 円
- ・その他(需用費・負担金等) 2,829,091 円

○ 効果

小学校の外国語活動、中学校の英語教育、及び国際理解教育の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 341

1001 特別支援教育に要する経費 1,678,194 円 (1,504,864 円)

[一財 1,678,194 円]

○ 目的

障害のある児童生徒を支援したり、保護者や教員からの相談に応じたり、さらには、取手市内の小中学校の特別支援教育の体制づくりを支えたりする。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員の配置

児童等の就学や適応に関する調査や教職員や保護者に対する相談活動を行う。

- ・相談件数

区 分	H22 年度(85 件)	H21 年度(78 件)
未就学児に関して	62 人	53 人
在学児童生徒に関して	21 人	10 人
教職員から	2 人	15 人

(2) 就学指導委員会の実施

障害のある幼児児童生徒の適切な就学のため、医師、特別支援学級担当者、県立伊奈養護学校教諭等で構成する委員会で、就学先を協議、判定する。

- ・判定件数

区 分	H22 年度(115 件)	H21 年度(76 件)
新学齢児	43 人	33 人
在学児童生徒	72 人	43 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実するとともに、小中学校等における特別支援教育校内支援体制の整備と活用に関する支援を行う。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」や、教職員向けの研修会などを企画、運営している。

- ・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H22 年度(11 件)	H21 年度(12 件)
保 護 者	11 人	6 人
教 職 員	0 人	6 人

- ・研修会への参加者

区 分	H22 年度	H21 年度
特別支援コーディネーター研修会	45 人	35 人
特別支援教育研修会	83 人	49 人

○ 効果

- ・障害のある幼児等を早期に発見することができるようになった。

- ・障害のある幼児児童生徒の適切な就学指導を進めるために、就学指導委員会で115件の判定を出すことができた。
- ・幼稚園・保育所と小学校との間での連携が充実し、支援の移行が適切に行われるようになった。
- ・市内小中学校の校内支援体制を充実させることができた。
- ・特別支援教育サポート事業のガイドブックを発行し、事業内容の周知を図ることができた。

[担当：指導課] P. 343

2301 適応指導事業に要する経費 25,359,120円 (25,498,284円)

[一財 25,359,120円]

○ 目的

不登校児童生徒の適応力を高め、学校へ復帰する力を伸ばす指導が必要である。様々な要因で集団不適應の児童生徒に適切に対応するため、学校や関係諸機関との連携を図りながら児童生徒や保護者への指導を行う。

○ 内容

教育相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団活動、個別の相談業務等を行った。これらを通して児童生徒が自立し、コミュニケーション力をつけ、学校に適應できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行った。

○ 効果

平成22年度は小中学生計7人の通室者のうち、7人全員が学校生活に復帰することができた。また、不登校児童生徒数も86人から83人に減少させることができた。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H22	7人	7人	100%
H21	13人	13人	100%

[担当：指導課] P. 343

3101 理科支援員等配置に要する経費 787,250円 (1,081,633円)

[国・県 282,730円 一財 504,520円]

* 特財内訳

[県委：理科支援員等配置事業委託金 282,730円]

○ 目的

全小学校において、理科の授業での観察・実験活動等における教員の支援や、先端技術に関する実験等の演示・体験活動を行う人材を派遣することにより、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図るとともに、小学校教員の理科指導力の向上を図る。

○ 内容

(1) 理科支援員の配置

配置校及び学級数：白山、宮和田、戸頭西小学校 5、6年の12学級

内容：観察・実験活動等の準備、実験支援、後片付け、教材開発、観察・実験、理科室環境の整備、活動等技能向上支援等

区 分	H22	H21
配置校数	3 校	3 校
配置学級数	12 学級	12 学級

(2)理科特別講師の派遣校数及び学級数

対象：理科支援員を配置していない小学校

(取手小、井野小、戸頭東小、桜が丘小、永山小、高井小、吉田小)

内容：製薬研究者による先端科学技術に関する知識やものづくり技術の伝授、
実験等 (4人の製薬研究者を招へい)

区 分	H22	H21
派遣校数	7 校	7 校
派遣学級数	12 学級	10 学級

○ 効果

理科支援員による授業支援は、教師が児童に直接向き合う時間を増加させるとともに、小学校理科教育の一層の活性化及び充実を図ることに有効であった。また、理科特別講師による授業は、児童の理科に対する興味関心を高めるだけでなく、夢を持つことの大切さ等、キャリア教育の視点からも効果があった。

[担当：指導課] P. 345

4201 日本語指導員に要する経費 787,087 円 (1,644,838 円)

[一財 787,087 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 効果

日本の学校への円滑な受け入れが可能となり、学校生活の不安を解消できた。

年 度	指導員数	内 訳
H22	4 人	ポルトガル語 3 人 タイ語 1 人
H21	5 人	ポルトガル語 2 人 中国語、スペイン語、英語 1 人

[担当：指導課] P. 345

4501 学力向上推進事業に要する経費 8,548,795 円 (5,315,934 円)

[国・県 423,000 円 一財 8,125,795 円]

* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 423,000 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

- 6月～2月 授業研究会(国語・算数数学 16回)(小学校外国語活動 1回)
- 4月～3月 ICT活用支援事業(授業支援 49回 研修支援 24回 校務支援 7回)
- 8月6日～7日 理科授業力向上研修会
- 7月～8月 夏休み算数スクール(市内全小学校に学習支援員各1人を5日間配置)
- 7月～8月 学びの広場(市内全小学校4学年各学級に学習支援員各1人を5日間配置)
- 2月7日 国語授業力向上研修会(講演会)
- 2月17日 小学校外国語活動研修会

○ 効果

研修会や講演会、ICT活用支援事業を通して教職員の資質向上を図ってきた。特に国語科・理科・小学校外国語活動においては、研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となった。また、ICT活用支援事業においても、教職員のICT活用回数が増加するなど、事業の成果向上がみられた。さらに、夏休みの補習授業を実施したことで、児童の学ぶ意欲が向上し、確かな学力の育成につながった。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 345

1001 青少年健全育成に要する経費 10,780,351円(10,999,968円)

[国・県 58,000円 寄附金 200,000円 一財 10,522,351円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 58,000円]

[寄附金：教育費寄附金 200,000円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 6,316,800円(月額 9,400円 56人)
- 特別青少年相談員報酬 2,712,000円(月額 113,000円 2人)
- ・負担金、補助及び交付金 7団体 1,320,100円

○ 効果

この事業を通して青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 347

1101 青少年問題協議会に要する経費 37,800円(118,060円)

[一財 37,800円]

○ 目的

青少年関係機関等の委員で構成される青少年問題協議会を開催し、関係機関の連絡調整を図るとともに、青少年の健全育成に関する総合的施策について調査・審議する。

また、善行青少年の表彰を実施し、市内の隅々に善行行為を広める。

○ 内容

- ・ 青少年問題協議会委員報酬 37,800 円

○ 効果

青少年問題協議会を開催することにより、関係行政機関（警察、小中高校等）相互の連絡調整を図ることができた。

また、善行青少年の表彰を行い、善行行為を広めることができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 349

2001 小学校管理に要する経費 188,666,236 円 (194,646,564 円)

[国・県 1,767,160 円 その他 741,274 円 一財 186,157,802 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 695,050 円]

[県補：学校活性化 TT 特別配置事業費補助金 1,767,160 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 46,224 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・ TT 特別配置事業により、県からの TT 加配がっていない小学校 4 校（高井小、宮和田小、山王小、六郷小）に TT 非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個に応じたきめ細かな指導を行った。(3,572,834 円)
- ・ 教育補助員を 15 校（取手小、白山小、小文間小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭西小、吉田小、戸頭東小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）に配置し、障害のある児童の教育支援を行った。(36,058,499 円)

○ 効果

- ・ TT 非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図れた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P. 351

2101 小学校施設管理に要する経費 41,287,403 円 (42,272,230 円)

[一財 41,287,403 円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
修繕料	各小学校の施設修繕料	7,383,705円
	各小学校の施設修繕料（学校配当分）	6,461,642円

(2) 委託料

委 託 名	内 容	委託料
学校警備委託	各小学校の機械警備	5,346,936円
浄化槽維持管理及び 清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（小文間小、永山小、 高井小、山王小、六郷小、宮和田小）	2,593,500円
消防設備保守点検委託	各小学校の消防設備の保守点検	2,940,000円
排水管清掃委託	各小学校の排水管の清掃	446,250円
電気管理技術者代行委託	各小学校の電気設備の安全管理	2,609,082円
プールろ過装置 保守点検委託	各小学校のプールろ過装置の保守点検	653,100円
高架水槽及び受水槽 清掃委託	各小学校の高架水槽、受水槽の清掃	1,155,000円
草刈り清掃委託	小学校隣接地の除草（取手小、白山小）	1,419,600円
給水管漏水調査委託	漏水調査（寺原小）	126,000円
樹木消毒委託	各小学校の樹木の消毒	1,638,000円
樹木剪定委託	各小学校の樹木の剪定	1,208,550円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検（取手小、山王小、六郷小、 藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小）	686,007円
テレビ共同受信設備 保守点検委託	テレビ共同受信設備の保守点検（取手小、藤代 小）	1,890,000円
エレベーター保守点検委託	エレベーターの保守点検（取手小、寺原小）	1,297,800円
太陽熱温水設備 保守点検委託	太陽熱温水設備の保守点検（取手小）	189,000円
雨水調整槽等保守点検委託	雨水調整槽等の保守点検（取手小）	315,000円

(3) 使用料及び賃借料、原材料費

項 目	内 容	金 額
使用料及び賃借料	電柱共架料	123,480円
原材料費	各小学校施設補修用材料の購入	23,100円
	各小学校施設補修用材料の購入（学校配当分）	308,233円

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P.353

2201 小学校保健衛生に要する経費 30,833,389円（31,723,513円）

[その他 2,217,660円 一財 28,615,729円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×4,821人=2,217,660円]

○ 目的

学校保健法に基づき、児童及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(42名)、歯科医(24名)、薬剤師(18名)、産業医(18名)の報酬
- ・児童、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

区分	尿	蛭虫	貧血	心臓	胃がん	結核・肺がん	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	1・2・3年	4年職員	1年職員	40歳以上職員	児童職員	4年	職員
H22	5,328人	2,522人	695人	917人	11人	183人	656人	39人
H21	5,279人	2,454人	781人	895人	13人	203人	724人	57人

○ 効果

定期検診を実施することにより、児童・教職員に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.355

2001 小学校教育振興に要する経費 13,377,760円 (13,602,340円)

[一財 13,377,760円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品 (18校) 11,638,997円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P.355

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 29,102,899円 (29,792,785円)

[国・県 492,000円 一財 28,610,899円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 492,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	特別支援学級教材	理科教材	図書	合計
H22	15,753,420	200,000	2,982,855	8,175,378	27,111,653
H21	16,641,501	791,015	2,354,695	8,138,960	27,926,171

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。また、新学習指導要領に対応した設備の整備に向けて、理科教育等設備の整備を図った。

[担当：学務給食課] P. 355

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 31,929,386円 (41,357,720円)

[一財 31,929,386円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

主に小学校18校のパソコン使用料(各校21台)に要する経費である。

主な事業費内訳

- ・パソコン使用料 26,994,240円
- ・学校ポータル運用管理委託 2,494,134円

○ 効果

小学校18校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 355

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 26,350,064円 (26,916,103円)

[国・県 774,500円 一財 25,575,564円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学奨励費補助金 59,579×約1/2=27,500円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 2,054,590×1/2以内≒747,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護児童就学援助者数

区分	要保護数	準要保護数	合計
H22	16人	384人	400人
H21	15人	374人	389人

・特別支援教育就学奨励者数

区分	在籍者数	該当者数
H22	113人	73人
H21	104人	65人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 355

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,065,300円 (1,466,900円)

[一財 2,065,300円]

○ 目的

諸発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

音楽発表会補助金	620,000 円
陸上記録会補助金	1,230,000 円
県芸術祭参加バス借上料	146,000 円
その他（賞状印刷代）	69,300 円

○ 効果

市音楽会、諸発表、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 357

2101 小学校施設整備に要する経費 23,185,050円 (35,420,862円)

〈6,776,700円〉※〈 〉は、うち21年度繰越分

[国・県6,102,000円 〈6,102,000円〉 一財 17,083,050円]

*特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

〈1,700,000×1/2=850,000円〉]

[国補：地域活性化・公共投資臨時交付金 〈692,000円〉]

[国補：地域活性化・きめ細かな臨時交付金 〈4,560,000円〉]

○ 目的

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委託名	内 容	工 期	委託料
宮和田小高架水槽改修工事実施設計業務委託（繰越明許費）	高架水槽老朽化に伴う工事実施設計業務	H22. 5. 22 ~ H22. 8. 20	〈204,750円〉

(2) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
宮和田小高架水槽改修工事 (繰越明許費)	宮和田小高架水槽改修工事 FRP製水槽を鋼板製水槽に改修する 工事	H22. 10. 21 ~ H23. 2. 15	〈5,029,500円〉
小学校地上デジタル放送受信設備工事（井野小他6校） (繰越明許費)	アナログ放送からデジタル放送へ切り替えのためのテレビ受信設備工事 (井野小、白山小、白山西小、稲小、戸頭西小、戸頭東小、吉田小)	H22. 12. 23 ~ H23. 2. 28	〈619,500円〉
小学校地上デジタル放送受信設備工事（山王小他6校） (繰越明許費)	アナログ放送からデジタル放送へ切り替えのためのテレビ受信設備工事 (山王小、六郷小、藤代小、宮和田小、久賀小、桜が丘小、小文間小)	H22. 12. 23 ~ H23. 2. 28	〈922,950円〉

戸頭西小・白山西小・井野小防火シャッター安全装置設置工事	防火シャッター安全装置の設置工事 戸頭西小9箇所、白山西小8箇所 井野小1箇所	H22.7.13 ~ H22.9.17	4,494,000円
施設管理営繕工事	各小学校の営繕工事		11,469,150円

○ 効果

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育総務課] P.359

2201 小学校建設事業に要する経費 550,883,900円 (16,674,000円)

〈526,158,205円〉 ※ 〈 〉 は、うち21年度繰越分

[国・県 429,774,000円 (425,268,000円) 地方債 119,200,000円 (100,000,000円)]

一財 1,909,900円]

* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

永山小学校

危険改築

〈347,904,000×1/3 + 347,904,000×1/3×1% ≒117,128,000円〉

不適格改築

〈51,721,000×1/3 + 51,721,000×1/3×1% ≒17,412,000円〉

単独校調理場（新增築）

1,329,000×1/2 + 1,329,000×1/2×1% ≒ 670,000円

単独校調理場（改築）

11,394,000×1/3 + 11,394,000×1/3×1% ≒ 3,836,000円

白山小学校

(特)地震補強

〈63,761,000×2/3 + 63,761,000×2/3×1% ≒42,948,000円〉

白山西小学校

(特)地震補強

〈11,907,000×2/3 + 11,907,000×2/3×1% ≒8,017,000円〉

戸頭西小学校

(特)地震補強

〈9,061,000×2/3 + 9,061,000×2/3×1% ≒6,100,000円〉

久賀小学校

(特)地震補強

〈8,146,000×2/3 + 8,146,000×2/3×1% ≒5,484,000円〉

山王小学校

(特)地震補強

〈51,716,000×2/3 + 51,716,000×2/3×1% ≒34,822,000円〉]

[国補：地域活性化・公共投資臨時交付金 (161,357,000円)]

[国補：地域活性化・経済危機対策臨時交付金 (32,000,000円)]

[市債：合併特例債

〈(338,084,305-134,540,000-103,543,000)×100%≒100,000,000円〉]

[市債：合併特例債(24,725,695－4,506,000)×95%≒19,200,000円]

○ 目的

体育館耐震補強工事実施設計、校舎・体育館改築工事実施設計及び校舎・体育館の耐震補強工事を行い耐震性の確保とともに、校舎の改築により教育環境の充実に努める。

○ 内容

(1) 委託料

委託名	内 容	工 期	委託料
永山小校舎改築工事監理業務委託	改築工事の工事監理業務	H22.8.10～ H24.3.22	366,647円
永山小校舎・体育館改築工事実施設計業務委託 (繰越明許費)	改築工事の実実施設計業務	H21.10.20～ H22.7.30	〈28,812,000円〉
白山小体育館耐震補強工事実施設計業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の実実施設計業務	H22.1.15～ H22.4.30	〈4,074,000円〉
白山小体育館耐震補強工事監理業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の工事監理業務	H22.6.17～ H22.12.17	〈2,625,000円〉
白山西小体育館耐震補強工事監理業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の工事監理業務	H22.5.18～ H22.11.5	〈577,500円〉
戸頭西小体育館耐震補強工事監理業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の工事監理業務	H22.5.15～ H22.11.5	〈336,000円〉
久賀小体育館耐震補強工事監理業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の工事監理業務	H22.5.15～ H22.11.5	〈336,000円〉
山王小管理教室棟耐震補強工事監理業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の工事監理業務	H22.6.17～ H22.12.17	〈1,425,900円〉
永山小校舎改築工事監理業務委託 (継続費通次繰越)	改築工事の工事監理業務	H22.8.10～ H24.3.22	〈5,013,353円〉

(2) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
永山小校舎改築工事	老朽化に伴う校舎の改築工事	H22.8.7～ H24.3.15	24,359,048円
白山小体育館耐震補強工事 (繰越明許費)	垂直ブレース16箇所・つなぎ梁16箇所の耐震補強工事等	H22.6.19～ H22.12.10	〈65,257,500円〉
白山西小体育館耐震補強工事 (繰越明許費)	屋根トラス補強、壁面ブレース8箇所、間柱補強6箇所の耐震補強工事等	H22.5.18～ H22.10.29	〈11,424,000円〉
戸頭西小体育館耐震補強工事 (繰越明許費)	鉄骨ブレース4箇所の耐震補強工事等	H22.5.21～ H22.10.29	〈8,788,500円〉
久賀小体育館耐震補強工事 (繰越明許費)	鉄骨ブレース16箇所の耐震補強工事等	H22.5.22～ H22.10.29	〈8,032,500円〉

山王小管理教室棟耐震補強工事 (繰越明許費)	垂直ブレース 14 箇所、水平ブレース 12 箇所の耐震補強工事等	H22. 6. 19～ H22. 12. 10	〈56, 385, 000 円〉
永山小校舎改築工事 (継続費繰次繰越)	老朽化に伴う校舎の改築工事	H22. 8. 7～ H24. 3. 15	〈333, 070, 952 円〉

○ 効果

白山小、白山西小、戸頭西小、久賀小の体育館また山王小の管理教室棟において耐震補強工事を実施し耐震性能が確保されるとともに、老朽化した永山小学校校舎の改築工事が着工し平成 23 年度の完成に向けて児童等が快適な学校生活を送れる教育環境の整備が図られた。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 361

2001 給食運営に要する経費 296, 575, 418 円 (305, 180, 241 円)

[その他 177, 682, 016 円 一財 118, 893, 402 円]

* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代(自校分) 177, 682, 016 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

(1) 臨時栄養士等賃金 7, 901, 095 円 (6 人)

(2) 委託料

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベータ保守点検 (14 校)	1, 402, 170 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (12 校)	1, 274, 301 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (12 校)	1, 676, 072 円
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除 (18 校)	412, 125 円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(9 校：取手小、寺原小、永山小、井野小、白山西小、戸頭東小、戸頭西小、吉田小、稲小)	91, 176, 022 円

○ 効果

栄養バランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 361

2101 給食施設整備に要する経費 2, 644, 940 円 (4, 224, 870 円)

[一財 2, 644, 940 円]

○ 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

○ 内容

備品整備	・ 給食用配膳台 (寺原小)	91, 140 円
	・ 給食室の休憩室エアコン更新 (稲小)	89, 250 円

施設整備

- ・焼物機・フライヤー移設に伴うガス管改修（白山小） 256,725 円
- ・給食用小荷物昇降機修理（戸頭東小） 185,220 円
- ・フライヤー仕様回転釜修理（小文間小） 134,967 円

○ 効果

給食室内の施設整備及び環境衛生面での充実を図ることができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P.365

2001 中学校管理に要する経費 76,000,408 円 (76,554,600 円)

[その他 385,700 円 一財 75,614,708 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 319,350 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 66,350 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へ繋げる。

○ 内容

- ・教育補助員を2校（取手二中、藤代南中）に配置し、障害のある生徒の教育支援を行った。（1,391,781 円）

○ 効果

- ・教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P.367

2101 中学校施設管理に要する経費 19,833,392 円 (21,000,948 円)

[一財 19,833,392 円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

(1) 需用費

項 目	内 容	金 額
修繕料	各中学校の施設修繕料	5,946,914 円
	各中学校の施設修繕料（学校配当分）	2,672,668 円

(2) 委託料

委託名	内 容	金 額
学校警備委託	各中学校の機械警備	2,438,100 円
浄化槽維持管理及び清掃委託	浄化槽の維持管理及び清掃（永山中、野々井中、藤代中、藤代南中）	1,449,000 円
消防設備保守点検委託	各中学校の消防設備の保守点検	1,344,000 円
排水管清掃委託	各中学校の排水管清掃	68,250 円
電気管理技術者代行委託	各中学校の電気設備の安全管理	1,102,500 円
エレベーター保守点検委託	エレベーター保守点検（取手二中、藤代中）	1,151,640 円
プールろ過装置保守点検委託	各中学校のプールろ過装置の保守点検	287,700 円

高架水槽及び受水槽清掃委託	各中学校の高架水槽、受水槽の清掃	598,500円
樹木消毒委託	各中学校の樹木の消毒	724,500円
樹木剪定委託	各中学校の樹木の剪定	514,500円
空調設備保守点検委託	空調設備の保守点検(藤代中・藤代南中)	121,380円

(3) 原材料費

項 目	内 容	金 額
原材料費	各中学校施設補修用材料の購入	58,800円
	各中学校施設補修用材料の購入(学校配当分)	146,153円

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 367

2201 中学校保健衛生に要する経費 16,377,631円(16,675,670円)

[その他 1,075,020円 一財 15,302,611円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×2,337人=1,075,020円]

○ 目的

学校保健法に基づき、生徒及び教職員の定期健康診断を実施することにより健康保持を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(20名)、歯科医(13名)、薬剤師(8名)、産業医(7名)の報酬
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

区分	尿	貧血	心臓	胃ガン	結核・肺ガン	小児生活習慣病	生化学検査
対象	全学年職員	2年職員	1年職員	40歳以上職員	生徒職員	2年	職員
H22	2,718人	742人	920人	9人	110人	696人	46人
H21	2,569人	735人	944人	12人	114人	682人	53人

○ 効果

定期検診を実施することにより、生徒及び教職員に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

[担当：教育総務課] P. 369

2301 中学校統廃合に要する経費 140,420円

[一財 140,420円]

○ 目的

市立小中学校適正配置基本計画に基づき中学校の統廃合を推進し、活力ある学校づくりを進める。

○ 内容

- ・報償費(野々井中学校閉校式典記念品 87,500円)
- ・需用費(野々井中学校閉校式典プログラム用紙代等消耗品 51,420円)
- ・役務費(野々井中学校閉校式典招待者返信用葉書 1,500円)

○ 効果

平成23年3月31日をもって野々井中学校を閉校し、永山中学校と統合することができた。また、野々井中学校の閉校式典には300名を超える方にご列席いただき、盛大に挙行することができた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 369

2001 中学校教育振興に要する経費 7,734,836円(8,057,227円)

[一財 7,734,836円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(8校) 7,584,836円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習環境が得られた。

[担当：学務給食課] P. 371

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 20,194,349円(19,877,275円)

[国・県 343,000円 一財 19,851,349円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費補助金 343,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図書	特別支援 学級教材	合計
H22	8,024,442	2,205,401	7,119,443	194,145	17,543,431
H21	8,349,127	1,980,809	6,660,156	377,790	17,367,882

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。また、新学習指導要領に対応した設備の整備に向けて、理科教育等設備の整備を図った。

[担当：学務給食課] P. 371

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 17,421,029円(30,401,836円)

[一財 17,421,029円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

主な経費

- ・パソコン使用料 15,120,000 円
- ・学校ポータル運用管理委託 1,108,521 円

○ 効果

中学校 8 校において、パソコン教材を活用した学習により、より一層の教育の充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 371

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 29,032,843 円 (27,801,325 円)

[国・県 591,500 円 一財 28,441,343 円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 547,255×約 1/2=272,500 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 816,542×1/2 以内≒319,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護及び準要保護生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
H22	21 人	271 人	292 人
H21	25 人	262 人	287 人

・特殊教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H22	31 人	18 人
H21	28 人	13 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 371

2901 中学校特別活動助成に要する経費 12,808,605 円 (12,811,680 円)

[一財 12,808,605 円]

○ 目的

諸発表・体育大会等（県南大会・県大会・関東大会・全国大会）を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

- ・音楽コンクール・諸発表大会生徒派遣費補助金 3,743,250 円
- ・体育大会等派遣補助金 8,846,461 円
- ・その他（自動車借上料、賞状印刷代） 218,894 円

○ 効果

市音楽会、諸発表・音楽コンクール・体育大会等への参加により、生徒のスポーツや音楽への関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図れた。

[担当：指導課] P. 371

3001 運動部活動外部指導者活用事業に要する経費 495,600円（165,200円）

[国・県 55,000円 一財 440,600円]

* 特財内訳

[県補：運動部活動外部指導者活用事業費補助金 55,000円]

○ 目的

運動部活動において、外部から専門的技術指導者を招き、より充実した部活動を行い、たくましい心と体を持った生徒を育成する。

○ 内容

運動部活動における外部指導者の活用

- ・ 1 運動部につき、年間 27 回の活用
- ・ 1 回の指導時間は 2 時間程度
- ・ 年間を通じて継続的に実施

○ 効果

4 校 8 人の外部指導者を活用したことにより、運動部活動の運営がより活性化し、生徒の技術の向上および心身の育成に大きな成果があった。

年 度	人 数	内 訳
H22	市4人 県2人 国2人	柔道1、卓球1、剣道1 ソフトテニス3、サッカー1 バスケットボール1
H21	県2人 国9人	柔道2、軟式野球1、卓球1、剣道1 ソフトテニス4、サッカー1 バスケットボール1

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 373

2001 中学校施設整備に要する経費 11,935,350円（29,208,868円）

〈2,646,000円〉※〈 〉は、うち 21 年度繰越分

[国・県 2,398,000円 〈2,398,000円〉 一財 9,537,350円]

* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

〈598,500×1/2≒299,000円〉]

[国補：地域活性化・公共投資臨時交付金 〈299,000円〉]

[国補：地域活性化・きめ細かな臨時交付金 〈1,800,000円〉]

○ 目的

各中学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。

○ 内容

(1) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
中学校地上デジタル放送受信設備工事（繰越明許費）	アナログ放送からデジタル放送へ切り替えのためのテレビ受信設備工事（取手二中、永山中、戸頭中、取手東中、藤代中、藤代南中）	H22. 12. 23～ H23. 2. 28	〈598,500円〉

戸頭中防火シャッター安全装置設置工事 (繰越明許費)	防火シャッター安全装置8箇所の設置工事	H22.6.10～ H22.8.31	〈2,047,500円〉
施設管理営繕工事	各中学校の営繕工事		9,058,350円

○ 効果

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。

[担当：教育総務課] P.373

2101 中学校建設事業に要する経費 521,619,000円 (210,210,000円)

〈512,116,500円〉※〈〉は、うち21年度繰越分

[国・県 431,981,000円 〈431,981,000円〉 地方債 89,100,000円 〈80,100,000円〉

一財 538,000円]

* 特財内訳

[国補：安全・安心な学校づくり交付金

永山中学校 地震補強

〈91,906,000×1/2 + 91,906,000×1/2×1% ≒46,413,000円〉

大規模改造(老朽)

〈53,781,000×2/7 + 53,781,000×2/7×1%≒15,520,000円〉

取手東中学校 地震補強

〈263,915,000×1/2 + 263,915,000×1/2×1% ≒133,277,000円〉

大規模改造(老朽)

〈102,585,000×2/7 + 102,585,000×2/7×1% ≒29,603,000円〉]

[国補：地域活性化・公共投資臨時交付金 〈207,168,000円〉]

[市債：合併特例債

〈(370,104,000-162,880,000-127,089,000)×100%≒80,100,000円〉]

[市債：合併特例債 9,502,500×95%≒9,000,000円]

○ 目的

体育館耐震補強工事实施設計、校舎増築工事实施設計及び校舎耐震補強工事、校舎大規模改造工事を行い、耐震性の確保と建物の改修により教育環境の充実を図る。

○ 内容

(1) 委託料

委託名	内容	工期	委託料
取手東中体育館耐震補強工事实施設計業務委託	耐震補強工事の実施設計業務	H22.6.10～ H23.2.28	3,832,500円
取手東中校舎増築工事实施設計業務委託	増築工事の実施設計業務	H22.6.10～ H23.2.28	5,670,000円
永山中校舎耐震補強工事監理業務委託 (繰越明許費)	耐震補強工事の工事監理業務	H22.5.18～ H23.3.7	〈3,727,500円〉
取手東中校舎大規模改造工事監理業務委託 (繰越明許費)	大規模改造工事の工事監理業務	H22.6.24～ H23.3.22	〈7,854,000円〉

(2) 工事請負費

工 事 名	内 容	工 期	工事費
永山中校舎耐震補強工事 (繰越明許費)	鉄骨ブレース 4 箇所、耐震スリット 9 箇所による耐震補強工事等	H22. 5. 28～ H23. 2. 28	〈138, 285, 000 円〉
取手東中校舎大規模改造工事 (繰越明許費)	耐震補強工事及び大規模改修工事に伴うエレベーター設置工事	H22. 6. 23～ H23. 3. 15	〈362, 250, 000 円〉

○ 効果

取手東中の体育館耐震補強工事及び校舎増築工事の実施設計により、安全・安心な学校づくりのための準備が整った。また永山中校舎耐震補強工事、取手東中校舎大規模改造工事により、耐震性能が確保され生徒等が快適な学校生活を送れる教育環境の整備が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 375

2001 給食運営に要する経費 163, 589, 747 円 (169, 781, 414 円)

[その他 98, 699, 995 円 一財 64, 889, 752 円]

* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代（自校分）98, 699, 995 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

(1) 臨時栄養士等賃金 3, 476, 505 円 (3 人)

(2) 委託料

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	給食用エレベーター保守点検 (8 校)	903, 210 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (6 校)	767, 571 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (6 校)	959, 428 円
給食室病虫害防除委託料	給食室の病虫害の防除 (8 校)	291, 375 円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の専門業者へ委託した。(5 校：取手一中、取手二中、戸頭中、永山中、取手東中)	50, 103, 328 円

○ 効果

栄養のバランスのとれた内容豊かな給食の提供及び給食環境の整備、環境衛生面での充実が図れた。

[担当：学務給食課] P. 375

2101 給食施設整備に要する経費 2, 905, 672 円 (1, 458, 632 円)

[一財 2, 905, 672 円]

○ 目的

給食室内の衛生管理を徹底強化するために施設の充実を図る。

○ 内容

備品整備

- ・ 給食室屋上換気扇修繕（永山中） 1,785,000 円
- ・ 消毒保管庫・釜移設修繕（取手二中） 194,250 円
- ・ 給食用小荷物昇降機修繕（取手東中） 168,000 円

○ 効果

給食室内の施設整備の充実及び環境衛生面での充実が図れた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P.377

2001 幼稚園管理に要する経費 8,554,121 円 (6,422,603 円)

[その他 4,670,500 円 一財 3,883,621 円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園入園料 144,000 円]

[使用料：市立幼稚園保育料 4,526,500 円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

保育料（月）5,500 円 入園料 4,000 円

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
H22	35 人	35 人	70 人
H21	30 人	34 人	64 人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P.379

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 654,619 円 (640,133 円)

[その他 9,450 円 一財 645,169 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×70 人=9,450 円]

○ 目的

学校保健法に基づき、園児の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

○ 内容

- ・ 幼稚園嘱託医(1名)、歯科医(1名)、薬剤師(1名)の報酬
- ・ 園児健康診断委託 委託先：(社)取手市医師会

区分	尿	蛭虫
対象	全園児	全園児
H22	72 人	70 人
H21	62 人	62 人

○ 効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図れた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P. 381

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 108,281,884 円 (97,671,158 円)

[国・県 25,037,000 円 一財 83,244,884 円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費 108,281,884×1/3 以内≒25,037,000 円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	0人	0人	1人	1人
市民税非課税世帯	1人	22人	38人	41人	102人
市民税所得非課税世帯	0人	12人	12人	12人	36人
所得割課税 34,500円以下	3人	53人	54人	61人	171人
所得割課税 183,000円以下	32人	267人	274人	254人	827人
合 計	36人	354人	378人	369人	1,137人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 41,901,212 円 (42,255,070 円)

[一財 41,901,212 円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額 2,500 円	44人	439人	482人	478人	1,443人

補助額 41,832,500 円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2003 幼稚園施設運営費補助関係経費 2,970,000円 (2,970,000円)

[一財 2,970,000円]

○ 目的

幼児教育環境の充実と、設置者及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

幼稚園の施設を整備するにあたり、私立幼稚園の設置者に対して費用の一部を補助した。

1園につき 270,000円×11園

○ 効果

幼児教育の施設及び設備の充実が図られ、また、私立幼稚園及び保護者の経済的負担軽減に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2004 幼稚園障害児保育補助関係経費 880,000円 (950,000円)

[一財 880,000円]

○ 目的

障害児保育の振興を図る。

○ 内容

障害児を在園させている私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。

・障害児1人につき 年額 110,000円 ・対象園児 8人

○ 効果

私立幼稚園の設置者に対し補助金を交付することにより、障害児保育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2006 幼稚園預かり保育助成事業関係経費 718,560円 (592,687円)

[一財 718,560円]

○ 目的

私立幼稚園における幼児教育の振興を奨励し、その充実及び向上を図る。

○ 内容

夏季休業日に預かり保育を実施した私立幼稚園の設置者に対して、補助金を交付した。 実施園9園 @774円×1,856.75h×1/2≒718,560円

○ 効果

私立幼稚園の設置者に補助金を交付することにより、幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2007 幼稚園共済掛金補助関係経費 172,530円 (175,905円)

[一財 172,530円]

○ 目的

私立幼稚園の災害共済掛金を補助し、幼児の福祉増進を図る。

○ 内容

日本スポーツ振興センター災害共済掛金を納付している私立幼稚園に対して、掛金の1/2の額を補助する。 私立幼稚園 @135×1,278人=172,530円

○ 効果

私立幼稚園に補助することにより、幼児の福祉増進と幼児教育の振興に寄与することができた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 385

2001 成人式に要する経費 1,945,000円 (2,050,000円)

[一財 1,945,000円]

○ 目的

成人に達した若者の新たなる門出と今後の活躍を願い、式典を開催することで祝福する。

○ 内容

平成22年度新成人の該当者の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H22 (H23.1.9 実施)	男	534	388	72.7
	女	512	358	69.9
	計	1,046	746	71.3
H21 (H22.1.10 実施)	男	554	392	70.8
	女	504	353	70.0
	計	1,058	745	70.4

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで良い記念となる冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 385

2201 生涯学習推進に要する経費 2,206,858円 (2,128,019円)

[一財 2,206,858円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1)生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア2010と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容	参加人数
ものづくり教室	身近なものを加工してものづくりに挑戦 牛乳パックのキャンディボックスとブーメランづくり	約 150 人
歌声喫茶“灯”	なつかしい曲をギター伴奏にあわせ、スタッフと来場者が一緒に歌を歌うことを楽しむ	約 200 人
昔あそびコーナー	昔の遊び（お手玉・おはじき・ビーだま・ベーゴマ・あやとりなど）体験	約 200 人
グラウンドゴルフ	年齢性別を問わず、いつでも、どこでも、誰でも出来るグラウンドゴルフの体験	約 150 人
ふじしろ野鳥と楽しむ会	バードウォッチング体験、写真・イラスト展示、野鳥のぬりえなどを体験	約 200 人

(2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容をリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H22		H21	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・登録指導者	10	336 人	17	501 人
行政編・職員等派遣	43	1,597 人	47	1,737 人

(3) とりで学遊プラザリーダーバンク

生涯学習に関する各種人材（指導者）の登録派遣制度

リーダーバンク登録者 207 人（平成 23 年 3 月 31 日現在）

(4) 農業ふれあい体験事業

委託料 220,000 円（取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託）

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/8(田植え)	農業 ふれあい 公園	親子 320 人 (うち台東区民 27 人)
	7/3(自然観察会)		
	9/11(稲刈り)		

(5) 家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。 29 学級 参加延べ人数 1,615 人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々

な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P. 387

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,348,772 円 (3,157,644 円)

[その他 2,487,000 円 一財 861,772 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,487,000 円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を援助するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第 39 回 文化祭 (取手地区)	10/30, 31, 11/3 (3 日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。市民が日頃行っている文化活動を集約し、技芸・展示に分けて発表した。 会場：取手市立市民会館・取手市立福祉会館 委託料：1,000,000 円	7,672 人
平成 22 年度 取手市 藤代文化祭	10/3, 10, 17, 24, 11/6, 7, 8, 14, 15, 21, 28 (11 日間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000 円	3,674 人 (参加者含む)
2010 取手美術 作家展	6/5～6/16 (12 日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。31 名 36 点出品。 市制 40 周年記念チャリティー展同時開催。 ギャラリーコンサート、一般向けギャラリーツアー、市内小中学生向けギャラリーツアー (3 日間) 実施。 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 委託料：640,000 円	2,264 人
第 41 回 取手市 美術展	10/30～12/7 (33 日間)	第 1 部 洋画、彫刻、デザイン 76 点 第 2 部 日本画、写真、書、工芸 94 点 第 3 部 小中学生、特別支援学級 1,163 点 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：354,772 円	4,280 人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000 円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000 円	団体の運営補助
アートの和実行委員会	107,000 円	一般公募補助事業新規採択 地域の人材を活用し、子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供

○ 効果

文化事業は恒例事業であるが、主催者が内容を工夫し、来場者数は年々増加している。また、各文化団体への補助金は市民の文化活動の活性化に寄与している。

[担当：文化芸術課] P.387

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 80,291,228 円 (82,025,328 円)

[一財 80,291,228 円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図るため、市民会館及び福祉会館を設置している。

○ 内容

(1) 需用費（修繕料） 256,200 円

修繕名	内容	工期	金額
取手市立福祉会館 講座室照明設備修繕	蛍光灯安全器交換・セレクター スイッチ交換	11/12～11/18	256,200 円

(2) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：(財) 取手市文化事業団

指定管理委託料：78,700,000 円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用件数/使用可能日数)
H22	市民会館	125 件	40,515 人	43.7%
	福祉会館	6,594 件	124,861 人	83.4%
H21	市民会館	157 件	67,745 人	54.1%
	福祉会館	8,166 件	163,580 人	88.3%

(3) 使用料及び賃借料（照明機器リース料） 1,260,000 円

舞台用ピンスポットライトを 5 年間リース。

○ 効果

施設の適切な管理運営を行うことにより、文化活動の拠点として、市民の文化振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.387

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 3,608,485 円 (4,117,857 円)

[その他 2,895,000 円 一財 713,485 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,895,000 円]

○ 目的

東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の振興を推進する。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 59 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(日本画、工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は福社会館ロビーと本庁舎ロビーに展示した。

種類	作品名	作者
日本画	潮汐	菅原 道朝
工芸(漆芸)	巣箱	高橋 薫

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

指導者謝礼：2,316,000 円(東京芸術大学美術学部及び音楽学部学生等)

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。(交流校 14 校)
- ・音楽：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。(交流校 8 校)

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：144,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
10/30(土)	井野公民館	サクソホン四重奏	4 人	100 人
12/18(土)	福祉交流センター	金管五重奏	5 人	260 人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近なところで質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：文化芸術課] P. 389

3301 アートのあるまちづくりの推進に要する経費 8,636,074 円(10,738,880 円)

[その他 8,635,480 円 一財 594 円]

* 特財内訳

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,749,480 円]

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 3,886,000 円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 壁画によるまちづくり

○ 内容

委託料：199,600 円(取手市壁画制作調査実行委員会)

市内の環境美化整備に鑑み、落書き等により環境が悪化している壁面等を調査し、壁画制作による環境整備が可能か調査した。併せて市内全 9 か所の壁画の経年劣化状況を調査し修復計画を作成した。

○ 効果

落書き等により環境が悪化している壁面等の状況及び既存の壁画の状況を把握できた。また、壁画の制作及び修復の概算費用を算出できた。

(2) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：2,690,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成22年度テーマ	取手アートプロジェクト2010 「100本ノック！」
開催期間	7/11～3/27の金曜・土曜・日曜 ほか
内容	取手井野団地を中心に、通年で100本の企画を主催・公募等で実施することを目指し、オープニングイベント、トークイベント、映像作品上映、ワークショップ等を開催した。震災により3月のイベントは中止となったため、総イベント数は71本となった。

・継続事業の主な活動概要

①こどもプログラム

いちねんせいのさくひんてん 概要

テーマ	ぼくの、わたしの、たからもの
開催期間	10/30～11/21 ※11/1, 8, 15を除く
会場	キリンビアパーク取手
内容	市内小学校に通う1年生全員（約900人）による作品展

その他、学校へのアーティスト派遣事業（開催校：8校）ほか

②環境整備プログラム

「3カラプロジェクト」取手井野団地3街区の外壁の塗り替え

「球形ガスホルダーデザインコンペ2010」デザインコンペの実施

○ 効果

TAP2010 延べ来場者数 5,663人

取手アートプロジェクトは、従来のフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行した。その過程で長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「アートのある団地」と「半農半芸」の2つの軸を立ち上げた。取手アートプロジェクトを支えるスタッフの自主的で個性的な企画運営は、評価されることである。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(3) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

東京芸術大学と市が連携し、長らく空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

- ・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す
- ・東京芸術大学が7戸の施設整備費を負担
- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1戸につき2名以上、利用期間2年
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件
- ・賃借人数

スタジオ名	101 (管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	3人	4人	6人	3人	4人	4人

○ 効果

24名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。毎月第2土曜にはオープンスタジオを開催し、アトリエ公開やトークショーを開催した。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

[担当：文化芸術課] P. 389

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 6,328,216円 (6,406,541円)

[その他 436,600円 一財 5,891,616円]

* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 347,000円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 89,600円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
世界にひとつの アート傘展	4/16～5/5	JOBAN アートライン協議会の事業として平成22年1月23日に開催した「JOBAN アートアンブレラ in 北千住」で東京芸術大学生がライブペイントしたアート傘111本を展示。	482人
昭和30年代・・・ 子どもの情景写真展	5/14～ 5/30	龍ヶ崎市で写真館を営みながら(社)日本写真文化協会理事として活躍中の佐藤有氏の撮り溜めた昭和30年代の子どもたちの写真約70点を展示。	709人
にこにこ元気な とりでっ子!	7/2～7/19	市内の公立保育所10カ所私立保育所5カ所に通う4歳児、5歳児の絵画約600点を初めて合同で展示。合わせて4カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。	1,041人
とりでアートの 日。	8/1～8/29	市内の芸術家15団体に呼びかけ、ギャラリー内に個展ブースや団体紹介ブースを設置。市内のアートスポットを回るスタンプラリーを開催。その他幼児から大人まで楽しめるワークショップを14本開催した。	1,301人
あなたが描く取 手の未来	9/25～ 10/10	市制施行40周年記念事業として絵画展を開催。小学生337点、中学生23点、高校生2点合計362点の応募作品を展示。	654人
グラフィカ写真 展	12/23～ 1/10	郷土茨城をテーマに追及してきた写真家集団グラフィカの写真展。今回のテーマは県内に住む元気な100歳にスポットをあてた「長寿萬歳」。	234人

小中学生児童生徒作品展	1/28～ 2/13	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ（県展入選作品を含む）の優秀作品展。	1,787人
-------------	---------------	--	--------

(2) アートギャラリーきらり貸出実績

期間	展示名
9/4 ～ 9/5	未来をのぞく住宅展（有料）
9/11 ～ 9/20	取手市絵手紙合同・みなかみ町交流展（有料）
10/14 ～ 10/20	全日本写真連盟取手支部展（有料）
10/21 ～ 10/27	国際平和ポスターコンテスト
12/11 ～ 12/19	第2回茨城県南書道展（有料）
1/13 ～ 1/16	MOA美術館茨城県児童作品展
1/19 ～ 1/25	16人+α展（有料）
2/23 ～ 3/2	取手洋画クラブ30周年記念展（有料）
3/3 ～ 3/9	第9回萌黄の会写真展（有料）
3/11 ～ 3/15	聖和会書道展（有料）

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡地下道及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

・利用件数

ギャラリー名	H22年度	H21年度
取手駅市民ギャラリー	57件	56件
藤代駅市民ギャラリー	37件	35件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化の交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与できた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 391

3801 放課後児童対策事業に要する経費 126,001,651円（112,997,431円）

[国・県 47,801,000円 その他 32,919,751円 一財 45,280,900円]

* 特財内訳

[県補：放課後児童対策事業補助金

放課後子ども教室推進事業補助金 @21,405,709×2/3≒14,270,000円

放課後児童健全育成事業補助金 @50,148,000×2/3≒33,432,000円]

[県補：子育て支援対策臨時特例交付金 99,000円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 32,277,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 642,751円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成20年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校18校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校1年生から小学校6年生を対象に、安全

で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、児童の健全育成を図る児童クラブと一体化した形で、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

(1)放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者）

平成23年3月1日現在（単位：人）

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取手小	40	50	20	15	12	1	138
白山小	32	37	20	18	10	2	119
小文間小	4	8	2	9	1	1	25
寺原小	36	30	25	14	5	2	112
永山小	36	27	20	9	8	3	103
井野小	18	18	28	13	8	2	87
白山西小	13	11	8	10	4	2	48
戸頭西小	27	16	24	9	20	6	102
吉田小	22	25	10	13	6	2	78
戸頭東小	38	35	24	14	11	3	125
稲小	21	28	18	11	10	2	90
高井小	7	7	8	3	4	0	29
山王小	14	9	9	11	16	3	62
六郷小	25	19	9	13	12	4	82
藤代小	30	37	21	12	3	1	104
宮和田小	36	15	24	16	10	1	102
久賀小	19	19	16	10	5	1	70
桜が丘小	35	22	21	11	5	2	96
合 計	453	413	307	211	150	38	1,572

○ 効果

児童の健全育成のために貢献する事ができた。また、全学年・全児童を対象とした事で異学年間の交流も図ることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 393

0501 公民館事務に要する経費 83,488,011 円 (50,070,721 円)

〈31,893,750 円〉 ※ 〈 〉 は、うち 21 年度繰越分

[国・県 29,764,000 円 (29,764,000 円) その他 4,640,352 円 一財 49,083,659 円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化経済危機対策臨時交付金 (28,793,000 円)]

[国補：地域活性化公共投資臨時交付金 (481,000 円)]

[国補：安全・安心な学校づくり交付金 (971,250×1/2≒490,000 円)]

[使用料：行政財産使用料 821,110 円]

[使用料：公民館使用料 3,326,720 円]

[諸収入：コピー使用料 458,232 円]

[諸収入：電気使用状況モニター 10,500 円]

[諸収入：電話通話料 440 円]
 [諸収入：ファクシミリ使用料 40 円]
 [諸収入：賠償保険料還付金 17,010 円]
 [諸収入：自動車重量税還付金 6,300 円]

○ 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

○ 内容

主な工事・委託等

- ・戸頭公民館昇降機設置工事 (29,925,000 円)
- ・公民館地上デジタル放送受信設備工事 (971,250 円)

主な備品購入

- ・地上デジタルテレビ購入 873,180 円

○ 効果

戸頭公民館の昇降機設置工事を行い、利用者の利便性・安全性の向上を図った。また、全公民館に地上デジタル対応テレビを設置し、受信設備工事とともに、視聴覚機器の充実を図った。

[担当：公民館] P. 397

2101 公民館活動に要する経費 1,655,557 円 (1,828,000 円)

[一財 1,655,557 円]

○ 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

○ 内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	紙芝居とゲームで遊ぼう	5月	1	20	昔懐かしい紙芝居とゲームなどを体験。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	夏休み工作教室	7月	1	30	小学生を対象。牛乳パックを活用してのキューピック作り。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	戸頭子どもまつり	7月	1	417	レクリエーションを通じて地域の子どもたちの交流を図る。
	平和映画会	7～8月 4館	4	273	総務課と共催。平和映画を鑑賞することにより、戦争の悲惨さ、平和の大切さを学ぶ。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	サマースクール	7～8月 6館	13	255	子供クッキング、タイル絵、お話マラソン会、絵画、レザークラフト等の講座を実施した。
	おもしろ理科 実験先生教室	8月	1	30	豆電球とLEDの違いなどを実験を交えて学習した。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	子どもふれあい スクール事業他	8～1月	4	301	新春子どもの集い、世代間交流事業ほか講座を開催した。
	クリスマス人形劇	12月	1	150	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	クリスマスケーキを 作る	12月	1	33	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	たこあげ大会 たこ作り教室	1月	1	30	正月の風物詩であるたこあげ大会とたこ作り教室を開催。
	むかしあそび	1～2月 2館	3	150	ベーゴマやあやとりなどの昔の遊びを中心に、今の遊びや卓球などを行った。
婦人	婦人学級	年間	各学級 11～ 12	1学級 15人～44人 8学級(228人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 11～ 14	1学級につき 20人～96人 3学級(149人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	年間	10	111	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
成人	悪徳商法講座	5月	1	20	様々な悪徳商法の実態と、被害防止策を学んだ。
	着付け	6～12月 2館	4	39	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	ふるさと講座	9～1月	5	157	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	青春のポップス コンサート	10月	1	70	昔懐かしいポップスから演歌の演奏会を楽しんだ。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	10月	1	37	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	エコ布ぞうり作り	10月	2	40	端切れの布で色とりどりのスリッパに代わる室内履きのぞうりを作った。
	ご当地グルメ講座	11月	1	20	取手の名産品(奈良漬)を使って、生パスタとパンを作った。
	そば打ち	9～12月 4館	4	57	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	こんにゃく作り	12月	1	20	手作りできんにゃくを作り、試食して楽しんだ。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
成人	し め 飾 り 講 座	12月 8館	8	271	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	絵 手 紙	4～3月	12	240	絵手紙で気持ちを表現する楽しさを学んだ。
一般	さ つ き 展	6月	1	65	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6～10月 3館	3	233	ソフトボール・ビーチボールバレーの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ビ ー チ ボ ー ル バ レ ー 大 会	6月 2館共催	1	100	ビーチは、相馬・久賀共催。
	親 子 ふ れ あ い フ ェ ス テ ィ バ ル	8月	1	304	親子を対象に、流しそうめん大会や、すいかわり等を高須公民館で実施した。
	夏 ま つ り 盆 踊 り 大 会	8月 3館	3	1,390	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
	運 動 会	9,10月 4館	4	1,250	小文間、六郷、山王は小学校と合同、相馬は単独で開催。
	ゲ ー ト ボ ー ル 大 会	10月 2館共催	1	50	健康増進と地域の親睦を目指し、交流を深めた。
	ペ タ ン ク 大 会	10月	1	60	スポーツ（ペタンク）を通じて、各世代間の交流を図った。
	菊 花 展	11月	1	71	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	ク リ ス マ ス コ ン サ ー ト	12月	1	130	地域の音楽家による、みんなで楽しめるコンサートを開催。
	フ ェ ミ リ ー ウ オ ー ク ラ リ ー	2月	1	230	相馬南公民館まつりと同時開催。家族や仲間と地図を片手に歩くゲームを開催した。
公 民 館 ま つ り	2～3月 10館	10	5,572	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。（永山、山王は震災のため中止）	

(2) 各公民館利用状況

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H22	343	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H21	343		
小文間公民館	H22	325	1,195	11,814
	H21	331	1,290	12,624
永山公民館	H22	325	1,723	24,536
	H21	331	1,908	24,761
寺原公民館	H22	325	1,984	29,299
	H21	331	2,053	30,073
井野公民館	H22	325	2,783	45,247
	H21	331	2,878	48,400
戸頭公民館	H22	325	2,729	39,911

公民館名	年度	開館日数(日)	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
戸頭公民館	H21	331	2,920	42,322
白山公民館	H22	325	1,957	35,336
	H21	331	2,213	38,925
藤代公民館	H22	325	2,527	45,399
	H21	331	2,482	47,177
山王公民館	H22	319	637	6,850
	H21	331	581	6,073
六郷公民館	H22	325	994	12,622
	H21	331	1,173	15,431
相馬公民館	H22	325	1,049	13,305
	H21	331	1,112	14,256
相馬南公民館	H22	316	1,225	15,851
	H21	331	1,419	18,743
高須公民館	H22	316	396	5,014
	H21	331	533	6,778
久賀公民館	H22	325	853	9,605
	H21	331	965	12,729
計	H22		20,052	294,789
	H21		21,527	318,292

○ 効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P. 397

2001 図書館管理運営に要する経費 21,758,447 円 (22,577,960 円)

[一財 21,758,447 円]

○ 目的

図書館の利用者に安全で快適な場・空間を提供し、生涯学習活動の拠点として、市民の教育・文化の発展に寄与する。

○ 内容

自由で公平な資料提供を中心とする奉仕活動を行うため、適切な図書館施設の維持管理を行う。

○ 効果

施設の維持、修繕等を行うことにより、快適な図書館環境の提供が図れた。

[担当：図書館] P. 399

2101 図書館活動に要する経費 43,320,157 円 (43,376,882 円)

[その他 231,997 円 一財 43,088,160 円]

* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 163,640 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 68,357 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応すべく、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努め、利用者へのより質の高いサービスと文化的で有意義な図書館資料の提供を図る。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業（年間 36 回 757 冊 399,995 円）
幼児・児童向け読み聞かせ（のべ 31 回開催 参加者 456 人）
- ・学校との連携 学校図書館への支援（司書教諭との合同会議及び研修 2 回）
学校訪問お話し会（市内小学校 18 校 3・6 年生対象 1,540 人）
- ・図書館だより ライブラリープラス（6 回発行）・ほんバナ（6 回発行）
- ・図書館まつり 取手図書館（7/17 1,446 人）ふじしろ図書館（4/17～18 3,700 人）

(2) 登録者数

（単位：人）

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
H22	715	3,062	2,298	2,279	2,826	4,677	7,673	5,975	4,565	11,279	45,349
H21	694	3,064	2,283	2,161	2,679	4,302	7,204	5,367	4,573	10,081	42,408
H20	676	3,191	2,398	2,427	3,019	4,490	7,796	5,724	4,960	9,506	44,187
H19	601	3,308	2,421	2,550	3,799	6,726	10,055	6,422	6,359	10,496	52,737
H18	542	3,324	2,362	2,511	3,614	6,610	9,157	5,835	6,476	9,147	49,578

(3) 利用状況

・入館者数

館名	入館者数（単位：人）				
	H22	H21	H20	H19	H18
取手図書館	182,309	190,857	182,250	187,056	192,830
ふじしろ図書館	190,921	189,824	180,667	184,632	175,578
合計	373,230	380,681	362,917	371,688	368,408

・館別貸出者数

館名	貸出者数（単位：人）				
	H22	H21	H20	H19	H18
取手図書館	89,244	91,449	88,743	86,553	83,699
ふじしろ図書館	87,543	83,553	69,487	76,431	72,134
戸頭公民館図書室	42,406	42,782	41,966	40,439	40,679
小文間公民館図書室	307	314	251	359	303
寺原公民館図書室	3,703	3,551	2,985	2,373	2,316
永山公民館図書室	744	564	488	471	369
ゆうあいプラザ図書室	2,848	2,847	3,003	3,140	2,882
井野公民館	1,663	1,805	1,274	992	725
取手駅前窓口	4,024	4,323	3,523	2,966	2,005

館名	貸出者数 (単位：人)				
	H22	H21	H20	H19	H18
山王公民館	143	109	61		
六郷公民館	573	472	173		
相馬南公民館	550	630	324		
久賀公民館	6	0	22		
合計	373,230	380,681	212,300	213,724	205,112

・貸出冊数

館名	貸出冊数 (単位：冊)				
	H22	H21	H20	H19	H18
取手図書館	287,956	301,944	299,164	297,743	303,076
ふじしろ図書館	265,928	250,769	225,923	220,987	213,581
戸頭公民館図書室	128,775	129,965	132,059	128,368	133,143
小文間公民館図書室	641	660	580	764	755
寺原公民館図書室	8,011	8,166	6,991	5,634	5,647
永山公民館図書室	2,067	1,581	1,300	1,142	983
ゆうあいプラザ図書室	7,375	7,316	7,726	8,488	8,275
井野公民館	3,281	3,844	2,573	2,121	1,630
取手駅前窓口	7,444	7,954	6,588	5,817	3,908
山王公民館	205	151	102		
六郷公民館	1,109	976	413		
相馬南公民館	945	1,071	600		
久賀公民館	9	0	44		
合計	713,746	714,397	684,063	671,064	670,998

・予約 (リクエスト) 月別利用状況

月別	予約 (リクエスト) 件数 (件)				
	H22	H21	H20	H19	H18
4月	9,327	8,384	7,770	7,433	6,967
5月	9,403	8,839	8,567	7,308	7,478
6月	7,907	8,299	5,035	6,632	5,718
7月	10,034	9,502	8,925	7,752	7,283
8月	9,339	9,092	9,285	7,841	7,024
9月	9,539	8,920	8,409	7,567	7,075
10月	10,119	9,719	9,268	7,775	7,406
11月	8,888	9,048	8,570	7,705	6,913
12月	9,625	8,579	8,302	7,741	6,843
1月	9,552	9,822	8,257	7,945	6,735
2月	9,130	9,276	8,504	8,085	6,997
3月	6,207	9,514	8,243	7,991	7,236
合計	109,070	108,994	99,135	91,775	83,675

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。平成23年度『取手市子ども読書活動推進計画』策定に向け調査を開始し、ブックスタート事業を、配布冊数を見直しながらも引き続き実施するなど、子どもの読書活動推進のための事業に力を入れた。

[担当：図書館] P. 401

2201 図書館資料購入に要する経費 31,518,180円 (31,450,808円)

[その他 203,169円 一財 31,315,011円]

* 特財内訳

[寄附金：寄附金 100,000円]

[諸収入：図書弁償金 103,169円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・館別蔵書数

館名	図書 (単位:冊) 1)				
	H22	H21	H20	H19	H18
取手図書館	136,748	143,984	141,553	138,546	131,659
ふじしろ図書館	114,403	108,711	101,790	95,467	91,117
戸頭公民館図書室	58,890	58,043	57,228	60,313	61,920
小文間公民館図書室	2,437	2,181	2,216	2,282	2,275
寺原公民館図書室	5,099	4,824	5,288	5,372	5,554
永山公民館図書室	4,856	4,656	4,735	4,945	4,826
ゆうあいプラザ図書室	11,533	11,615	11,989	11,815	12,144
合計	333,966	334,014	324,799	318,740	309,495

館名	雑誌 (単位:種類)				
	H22	H21	H20	H19	H18
取手図書館	97	96	96	101	73
ふじしろ図書館	104	107	107	106	112
戸頭公民館図書室	34	33	33	33	31
合計	2) 198	2) 196	196	207	185

館名	AV (単位:件)				
	H22	H21	H20	H19	H18
ふじしろ図書館	4,094	3,963	3,827	3,559	3,101
合計	4,094	3,963	3,827	3,559	3,101

1)蔵書冊数には寄贈本を含む。 2)全体の雑誌種類数(各館間で重複する雑誌は1つと数える)

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課] P. 403

2001 文化財保護に要する経費 1,002,911 円 (11,631,490 円)

[その他 450 円 一財 1,002,461 円]

* 特財内訳

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 450 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料である。そのため文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用につとめ、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (919,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。
(単位:円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8 以内	補助率 1/2 以内
国	龍禅寺 三仏堂	9,000	60,000	534,000 [防災設備修繕(消火ポンプエンジン修理)]
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	9,000		
	大日山古墳(岡神社)	9,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	9,000		
	長禅寺 三世堂	9,000	30,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	9,000	50,000	
	東漸寺 山門・観音堂	9,000	35,000	
	白山神社 本殿	9,000	36,000	
	中妻貝塚(福永寺)	9,000		81,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来座像(金仙寺)	9,000		
	絹本金地刺繍釈迦涅槃図(信楽寺)	3,000 (指定後3カ月分)		

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

旧取手宿本陣（10月29日～11月7日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
10/29～11/7	特別公開	368人	本陣・染野家に贈られた水戸藩主直筆 掛け軸3点の特別公開
11/3・5～7	掛け軸公開	308人	
11/7（日）	講演会	120人	『「桜田門外の変」の経緯』 講師：但野正弘氏（元植草学園短期大 学教授）
合 計		488人	

長禅寺三世堂（11月5日～11月7日）

公開日	内 容	参加人数	備 考
11/5～11/7	内部特別公開	501人	

(3) 文化財防火デー（1月26日）に伴う防火訓練

文化財愛護と保護の意識を高めるため、指定文化財の建造物所有者に協力してもらい、毎年総合防火訓練を実施している。

実施日	実施文化財	参加者数	協 力 者	備 考
1/21	市指定文化財「東漸寺観音堂・山門」	50名	地元消防団 地元住民 文化財保護審議委員	取手消防署と共催

(4) 市指定文化財「東漸寺観音堂・山門」特別公開

平成17年度から21年度にかけて解体修理工事を実施した市指定文化財「東漸寺観音堂・山門」の工事完了を記念して、防火訓練に合わせて特別公開を実施した。

実施日	実施文化財	参加者数	協 力 者	備 考
1/21～ 23	市指定文化財「東漸寺観音堂・山門」	334名	地元消防団 地元住民 文化財保護審議委員	取手消防署と共催

○ 効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P.403

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 7,582,428円（8,939,024円）

[その他 240,000円 一財 7,342,428円]

* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H22	週3日 (金・土・日)	154日	8,345人	54.2人	<ul style="list-style-type: none"> ・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・希望する団体には職員が説明を行った。 ・3/12～20 震災により臨時休業
H21	同上	156日	9,125人	58.5人	同上

(2) 管理・運営経費

- ・一般公開に関する経費：39,994円

内 訳	支 出 額
消耗品費（パンフレット用紙等）	39,994円

- ・維持管理に関する経費：7,542,434円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	5,557,395円
日常管理委託料	478,800円
庭園維持管理委託料	771,750円
防災（設備点検委託、機械警備委託）	255,150円
火災保険料	70,737円
光熱水費・通信運搬費・下水道使用料	270,002円
修繕料（雨どい、垣根修理等）	138,600円

○ 効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。22年度は、21年度に引き続き取手宿ひなまつりに会場として貸し出し、より多くの見学者に対し文化財に触れる機会を作れた。

[担当：教育総務課] P.405

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 2,105,494円(3,025,222円)

[国・県1,000,000円 その他34,700円 一財1,070,794円]

* 特財内訳

[国補：市内遺跡確認緊急調査費補助金

補助対象事業費 2,000,000×1/2以内=1,000,000円]

[諸収入：郷土史売却代 34,700円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領によって、土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要（国庫補助事業）

確認調査（試掘）や個人住宅の発掘調査については、国・県から補助金を受け、市が調査を実施した。（事業経費：2,045,791円）

遺跡名・事由・面積	期 間	人員数・経費	内 容
大渡遺跡 専用住宅・893 m ²	4/27	使用料 72,975 円	遺構・遺物なし
台畑遺跡 専用住宅・587 m ²	5/12～5/28	賃金 37,138 円 (作業員 7.5 名)	焼土跡 (現代かく乱) 縄文土器・土師器
台畑遺跡 B 地点 専用住宅・592.34 m ²		委託料 232,734 円 (作業員 48 名)	奈良平安時代住居跡 縄文土器・土師器
大鹿城跡 専用住宅・172.54 m ²	6/21・22	賃金 31,026 円 (作業員 6 名)	遺構・遺物なし
大渡遺跡 B 地点 共同住宅・499.44 m ²	6/24～7/6	委託料 170,553 円 (作業員 32 名)	遺構・遺物なし
稻向原Ⅲ遺跡 宅地造成・426 m ²	9/6～10	委託料 94,603 円 (作業員 18 人)	遺構・遺物なし
台道南耕地地内 個人住宅・525 m ²	11/16	委託料 5,329 円 (作業員 1 人)	遺構・遺物なし
台畑遺跡 C 地点 専用住宅・642.07 m ²	12/13～16	委託料 58,627 円 (作業員 14 人)	遺構・遺物なし
神明遺跡 個人住宅・183.20 m ²	12/17		遺構・遺物なし
清水地内 市道整備・1,496 m ²	H23. 1/24～ 2/7	委託料 (神明遺跡と 合算)	近世道路跡 遺物なし
神明遺跡 資材置き場・3,177 m ²	H23. 2/9～ 3/25	賃金 65,988 円 (作業員 12.5 人) 委託料 832,335 円 (作業員 135 人:清水地 内・陣屋原地内と合算) 使用料 73,500 円	縄文時代陥穴 (おとしあ な) 縄文土器
野ノ井字陣屋原地内 市道整備・59.49 m ²	H23. 3/10・11	委託料 (神明遺跡と合 算)	遺構・遺物なし
市内遺跡整理	H23. 3. 1～ 3/31	賃金 61,112 円 (作業員 13 人)	平成 22 年度に実施した 調査の出土品整理。
「取手市内遺跡確認 緊急調査報告書」13 印刷製本	H23. 3. 5～ 3/31	需用費 294,000 円	平成 20 年度・21 年度に 実施した市内遺跡調査 の報告書の刊行。

○ 効果

平成 22 年度は、5 遺跡 12 件の確認調査で、縄文時代の包蔵地や奈良・平安時代の集落跡を調査し、縄文時代の陥穴 (おとしあな) や縄文土器・奈良平安時代の住居跡など貴重な資料が多数出土した。これらの調査により、重要な市内遺跡が破壊されることを防ぐことができた。また貴重な資料が多数得られた。

【担当：教育総務課】 P. 405

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 672,445 円 (787,604 円)

[一財 672,445 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年度	平成 22 年度	平成 21 年度
来館者数	5,242 人	6,233 人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1 日平均)	経費	内 容
第 27 回企画展 「取手の鉄道交通」	2/22～4/18 開館 56 日 内 4/1 から で 38 日	2,039 人 (36.4 人) 4/1 からで 643 人 (35.7 人)	報償費、印刷 製本費は平 成 21 年度予 算で対応 (4/1 以降 は支出無し)	常磐線や常総線など、鉄道交通の発達とともに歩んできた取手の歴史を紹介した。 4/10 歴史講座「日本鉄道土浦線の路線策定」 参加者 100 名、講師：センター職員
第 28 回企画展 「ふりかえる 取手の現代— 市制施行から 発展の未来へ」	7/20～9/24 開館 67 日	1,238 人 (18.5 人)	印刷製本費 292,950 円 (ポスター、解説 図録)	市制施行 40 周年を迎える節目の年に当たり、センター初の試みとして現代にスポットをあて、40 年間取手市が歩んできた歴史を振り返る。 7/20 オープニングセレモニー 参加者 66 人 9/4 歴史講座「村から町へ 町から市へ—取手市誕生までの一世紀—」 参加者 74 人、講師：センター職員
第 29 回企画展 「街道・水運・ 鉄道の旅」	2/21～4/22 開館 54 日 内 3/31 まで で 32 日	2183 人 (40.4 人) 3/31 までで 1,541 人 (48.2 人)	印刷製本費 304,500 円 (ポスター、解説 図録)	水戸街道の宿場、利根川水運の河岸、鉄道交通の要衝として発展してきた取手の歴史を、「旅」の視点から取り上げた。 3/5 公開講座「桜田門外の変と取手」 参加者 114 名、講師：センター職員

○ 効果

平成 22 年度の来館者数は 5,000 人を超え、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にしたい気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 409

1001 体育指導委員に要する経費 1,063,000 円 (1,497,510 円)

[一財 1,063,000 円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力及び自主企画によるニュースポーツの普及と拡大に努めた。

体育指導委員報酬 日額 6,300 円×延べ 163 人=1,026,900 円

○ 効果

体育指導委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 409

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,573,000 円 (9,349,000 円)

[一財 9,573,000 円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	31 部	7,636 人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催行事への協力及び参加、競技別大会の企画運営、指導者の育成
スポーツ少年団	11 連盟 40 単位団	指導者 328 人 団員 1,207 人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。

また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

2002 社会体育振興関係経費 652,404 円 (738,678 円)

[一財 652,404 円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。

(1) 各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第15回 小学生ドッジボール大会	336人	取手グリーンスポーツセンター
第42回 市民釣り大会	50人	さくら湖（小堀地先）
第41回 市民ゴルフ大会	191人	利根パークゴルフ場
第7回 市民親善ソフトボール大会	243人	取手緑地運動公園
第19回 ソフトバレーボール大会	203人	取手グリーンスポーツセンター
第11回 グラウンドゴルフ大会	140人	取手緑地運動公園
体力測定	100人	取手緑地運動公園
第39回新春健康マラソン大会	1,505人	取手緑地運動公園
第18回ふれあいウォーキング	113人	小貝川ヘルスロードコース
第5回市民ペタンク大会	243人	北浦川緑地

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

2003 スポーツ振興奨励関係経費 928,000円（886,000円）

[一財 928,000円]

○ 目的

社会体育関係団体を助成することにより、選手の育成と市民に対するスポーツ振興及び団体の育成を図る。また、身近なスポーツ・レクリエーション活動を支援する。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

奨励金交付対象 ・団体 13件 ・個人 27件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

2101 学校施設開放に要する経費 555,963円（561,745円）

[一財 555,963円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツレクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設

の開放を実施した。

年度	利用団体数	延利用人数	開放学校数	開放施設数
H22	253 団体	327,392 人	26 校	58
H21	249 団体	373,464 人	26 校	58

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 127,589,632 円
(130,046,192 円)

[一財 127,589,632 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行うことで市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

・指定管理料 125,146,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H22	H21	増減
室内プール	89,947	92,379	△2,432
遊水プール	19,711	15,190	4,521
第一体育室	52,450	53,721	△1,271
第二体育室	7,586	9,268	△1,682
トレーニング室	40,128	43,520	△3,392
柔道場	10,079	11,872	△1,793
剣道場	12,955	11,580	1,375
弓道場	10,968	10,089	879
スポーツサウナ	192	198	△6
健康相談室	61	49	12
スポーツ障害相談室	274	299	△25
研修室	7,354	6,194	1,160
会議室	715	854	△139
和室	1,174	809	365
その他	17,422	15,713	1,709
合計	271,016	271,735	△719

○ 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 413

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 39,262,379円(36,609,775円)

〈1,304,100円〉※〈〉は、うち21年度繰越分

[国・県1,000,000円〈1,000,000円〉その他5,608,170円 一財32,654,209円]

* 特財内訳

[国補：地域活性化・きめ細かな臨時交付金 〈1,000,000円〉]

[使用料：テニスコート使用料 1,110,400円]

[使用料：野球場使用料 1,168,750円]

[使用料：多目的グラウンド使用料 475,550円]

[使用料：総合体育館使用料 2,812,400円]

[諸収入：コピー使用料 41,030円]

[諸収入：ファクシミリ使用料 40円]

○ 目的

生涯スポーツの拠点として、藤代スポーツセンターの円滑な管理運営を行うことにより、市民の健康増進と利用者相互の交流及び利用者拡大を図る。

○ 内容

施設名	H22	H21	増減
アリーナ	30,228人	29,745人	483人
レクリエーション室	4,695人	3,996人	699人
多目的グラウンド	9,860人	12,149人	△2,289人
野球場	11,196人	10,447人	749人
藤スポ・テニスコート	9,436人	9,932人	△496人
久賀テニスコート	557人	753人	△196人
会議室	818人	820人	△2人
合計	66,790人	67,842人	△1,052人

○ 効果

施設利用者も増加傾向にあり、市民の生涯スポーツの拠点として健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 415

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 4,323,946円(4,806,390円)

[その他1,587,750円 一財2,736,196円]

* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,587,750円]

○ 目的

藤代武道場の円滑な管理運営を行うことにより、市民の健康増進と利用者相互の交流及び社会体育の振興に寄与する。

○ 内容

施設名	H22	H21	増減
柔道場	10,412人	11,841人	△1,429人
剣道場	11,687人	10,848人	839人

弓道場	1,328人	808人	520人
師範室	1,008人	654人	354人
合計	24,435人	24,151人	284人

○ 効果

年間を通じて、市民の健康増進と施設利用者相互の交流に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 415

2401 社会体育施設管理運営に要する経費 1,398,021円

[その他 574,900円 一財 823,121円]

* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 72,900円]

[諸収入：こども発達センター光熱水費使用料 502,000円]

○ 目的

生涯スポーツの拠点として、施設管理運営を行うことにより、市民の健康増進と利用者相互の交流及び社会体育の振興に寄与する。

年度	利用団体数	延利用人数
H22	17団体	4,977人

○ 効果

市民の健康増進・体力づくりの拠点として、またスポーツ・レクリエーションの普及発展に寄与することができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 419

2001 給食センター運営に要する経費 129,930,431円 (129,642,789円)

[その他 118,756,465円 一財 11,173,966円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 3,346,387円]

[諸収入：小学校給食代（センター分）74,053,026円]

[諸収入：中学校給食代（センター分）41,357,052円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料（職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査）、及び負担金等である。

○ 効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：学務給食課] P. 419

2101 給食センター施設整備に要する経費 28,738,135円 (25,697,320円)

[一財 28,738,135円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費 (単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,527,022
修繕料	調理器具等修繕料	4,210,048

(2) 委託料 (単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	2 台の配送車による各学校への給食運搬業務	12,266,100
電気保安業務委託料	電気設備の安全管理	119,700
受水槽清掃委託料	受水槽の清掃	99,750
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	315,000
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	567,000
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	1,984,500
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃・ボイラー排ガス測定	837,900
冷凍・冷蔵設備保守点検委託料	冷凍・冷蔵設備の点検	126,000
高窓・排気ダクト清掃委託料	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	199,500
警備委託料	施設警備	167,580
害虫駆除委託料	害虫の駆除	73,500

(3) 備品購入費 (単位：円)

項 目	内 容	金 額
自動台秤 100 kg(車付)1 台	給食の物資計測用	99,750

○ 効果

給食の安全性がさらに高まり、小学校 6 校、中学校 2 校、幼稚園 1 園に予定どおりの給食を提供することができた。